

2025年度 第3回アジア地域研究科委員会

日時： 2025年6月10日（火）教授会終了後
場所： 管理棟3階第1会議室

日 時：2025(令和7)年6月10日(火)16時36分～17時13分

場 所：管理棟3階第1会議室

定 数：21名 ※議事の定足数に算入しない者(3名)

出席者数：18名

欠席者数：0名

議 長：須田敏彦(研究科委員長)

附議事項

議案

1. 大学院新規担当教員候補者について (資料 101)
2. 修士学位論文計画書の提出について(2024年9月入学生) (資料 102)
3. 2025年度院生研究報告会の開催日程について (資料 103)
4. 大学院給付奨学金候補者の選考について (資料 104)
5. 2025年度国際会議について (資料 105)
6. その他

報告承認事項

1. 2025年度大東文化大学給付奨学金給付候補者の選考結果について (資料 201)
2. 博士課程後期課程担当教員について (資料 202)
3. 学則の改正について(2025年4月研究科委員会承認 文言修正) (資料 203)
4. 2025年度(9月)交流学生の受入れについて(指導教員の決定) (資料なし)
5. その他

報告事項

1. 2025年度研究科委員長職務代行者について (資料 301)
2. 2024年度大学院修了時アンケートの報告について (資料 302)
3. 各研究科における2025年度FD研究会等の実施について (資料 303)
4. 2025年度大東文化大学授業料減免の実施について (資料 304)
5. 大学院定員未充足課題に関する入試広報対策について (資料 305)
6. 学費等の検討に関する規程改正(案)について (資料 306)
7. 出版物の購入に関する取扱い要領の改正(案)について及び
学科、専攻および東松山分野における予算委員会に関する規程の改正(案)について (資料 307)
8. 拡大演習の実施について (資料なし)

9. その他

■議事の経過及び結果

須田敏彦アジア地域研究科委員長が議長となり、大東文化大学大学院学則第26条の3に規定する所定の定足数に達したので開会を宣した。前回研究科委員会議事録(2025年5月13日開催分)の回覧があり、研究科委員会はこれを承認した。引き続き、議案の審議に入り研究科委員会は次のとおり決議した。

◆附議事項

議案

1. 大学院新規担当教員候補者について (資料 101)

議長により、資料 101 に基づき大学院新規担当教員候補者について提案がなされ、審査委員会の設置を含めて委員会はこれを承認した。

また、候補者が大学院科目の担当となった場合に次年度の授業の構成が変わるため、資料101-3のように進めたい旨の説明があり、委員会は承認した。

2. 修士学位論文計画書の提出について(2024 年 9 月入学生) (資料 102)

議長により、資料 102 に基づき修士学位論文計画書の提出(2024 年 9 月入学生)について説明がなされ、該当者は1名である旨説明があり、委員会はこれを承認した。

3. 2025 年度院生研究報告会の開催日程について (資料 103)

議長により、資料 103 に基づき 2025 年度院生研究報告会の開催について説明がなされ、委員会はこれを承認した。

4. 大学院給付奨学金候補者の選考について (資料 104)

議長により、資料 104 に基づき大学院給付奨学金候補者の選考について説明がなされた。本件は、今年問題が起きたので、手順をあらかじめ決めることになり、提案することとなった。

この方法で決まれば2026年度以降の申し合わせ事項としたい旨説明があり、委員会はこれを承認した。

5. 2025 年度国際会議について (資料 105)

議長の指名により、ギャレン・ムロイ教授により、資料 105 に基づき国際会議について概要とスケジュールについて説明がなされ、委員会はこれを承認した。

6. その他

報告承認事項

1. 2025 年度大東文化大学給付奨学金給付候補者の選考結果について (資料 201)

議長により、資料201に基づき2025年度大東文化大学給付奨学金給付候補者の選考結果について、3名のうち2名が合格となった。1名は面接の際に辞退したため、対象外となり、否となった旨の説明があり、委員会はこれを承認した。

2. 博士課程後期課程担当教員について (資料 202)

議長により、資料202に基づき博士課程後期課程担当教員について説明がなされた。現在博士課程後期課程を担当していない教員がいるが、後期課程も担当していただきたい旨、打診したところ2名以外は担当可能と回答があった。2026年度より2名以外の全員に後期課程を担当いただく旨の説明があり、委員会はこれを承認した。

3. 学則の改正について(2025 年 4 月研究科委員会承認 文言修正) (資料 203)

議長により、資料203に基づき、説明があった。本件は4月の研究科委員会で承認している。その後、学則の改正にあたり、他の研究科、他の大学院で修得した単位について、4単位を上限として充当することができるということで内容は同じであるが、表現が変更となった旨の説明がなされ、委員会はこれを承認した。

4. 2025 年度(9 月)交流学生の受入れについて(指導教員の決定) (資料なし)

議長により、2025 年度(9 月)交流学生の受入れについて説明がなされ、浦山あゆみ教授に指導をお願いすることとなった旨の説明があり、委員会はこれを承認した。

5. その他

報告事項

1. 2025 年度研究科委員長職務代行者について (資料 301)

議長により、資料 301 に基づき 2025 年度研究科委員長職務代行者について高野太輔専攻主任となる旨、報告がなされた。

2. 2024 年度大学院修了時アンケートの報告について (資料 302)

議長により、資料 302 に基づき 2024 年度大学院修了時アンケートについて、回答者が少ないため、研究科毎の結果は不明である。本学の研究科全体については、満足しているという結果が出ている旨、報告がなされた。

3. 各研究科における 2025 年度FD研究会等の実施について (資料 303)

議長により、資料 303 に基づき 2025 年度FD研究会等の実施について学部と合同で行う旨、報告がなされた。

4. 2025 年度大東文化大学授業料減免の実施について (資料 304)

議長により、資料 304 に基づき 2025 年度大東文化大学授業料減免について報告がなされた。なお、外国人留学生は対象とならない。

5. 大学院定員未充足課題に関する入試広報対策について (資料 305)

議長により、資料 305 に基づき2025年度大学院広報計画概要(案)について入学センター事務室を中心とした取り組みについて報告がなされた。

6. 学費等の検討に関する規程改正(案)について (資料 306)

議長により、資料 306 に基づき学費等の検討に関する3つの規程について、状況に応じて学費を改定できるようにするための改正である旨の報告がなされた。

7. 出版物の購入に関する取扱い要領の改正(案)について及び

学科、専攻および東松山分野における予算委員会に関する規程の改正(案)について

(資料 307)

議長により、資料 307に基づき改正点である「予算積算書」から「予算申請書」と文言変更する旨、報告がなされた。

8. 拡大演習の実施について

(資料なし)

議長により、年2回の拡大演習を行うことになっているが、1回目の拡大演習の時期が来ているため実施に向けて準備を進めることについて周知がなされた。

9. その他

議長の指名により、金美珍准教授から大東アジア学論集の状況について、予算が確定し、業者が決まった旨の報告があった。なお、業者の連絡先を聞いたため、これから1回目の校正が入る予定である。なお、予算の範囲内である旨の報告があった。

議長より、今後の主なスケジュールとして以下の点について周知がなされた。

6月30日(月)2025年度9月修了修士論文提出締切

7月22日(火)第4回研究科委員会

以上